

令和3年度 アップルミントホームヘルパーステーション事業報告

Ⅰ 重点目標

1、ヘルパー1人1人の資質の向上を図ることによって良い支援につなげる

[取組内容]

- ・ヘルパー会議の実施（1回/月）
- ・研修会の実施（4回/年）

- ① 感染防止について
- ② 抗原検査の検査方法
- ③ 接遇マナーについて
- ④ 障害について

[結果]

個々のケースについて課題や留意事項等の伝達や意見交換が行えた。

職員間の情報共有と意識統一を図り、日々の業務改善につながった。

研修会を実施したことで、感染症対策の徹底が図れた。また、支援時の疑問などを研修の題材として取り上げることで、ヘルパーの不安解消や、質の向上につながった。

2、利用者や家族と信頼関係を構築する

[取組内容]

- ・利用者のニーズの把握
- ・小さな変化への気づき

[結果]

ニーズへの迅速な対応をするために、関係機関（相談支援事業所、学校やグループホーム職員等）と連携を図りながらサービス提供が実施できた。

契約後、短期間利用ののち、家庭内への介入を拒絶しサービス提供を中止していたケースがあったが、少しずつ関係を構築していくことで、再度、利用につながった。

II 実績

項目 月	訪問介護		居宅介護		移動支援	
	利用見込 (人)	実績	利用見込 (人)	実績	利用見込 (人)	実績
4月	2	1 (1)	11	13 (11)	4	3 (3)
5月	2	1 (1)	12	15 (12)	4	4 (3)
6月	2	2 (1)	12	15 (13)	4	2 (4)
7月	2	3 (1)	11	14 (12)	4	4 (11)
8月	2	3 (1)	12	15 (12)	4	1 (2)
9月	2	1 (1)	11	13 (11)	4	3 (4)
10月	2	1 (1)	11	16 (13)	4	9 (10)
11月	2	1 (1)	13	15 (12)	4	2 (8)
12月	2	1 (1)	13	13 (12)	4	10 (3)
1月	2	1 (2)	11	14 (11)	4	3 (3)
2月	2	1 (2)	11	16 (13)	4	3 (3)
3月	2	1 (2)	11	14 (12)	4	3 (3)
合計	24	17 (15)	139	173 (144)	48	47 (57)

()内は前年度実績

※受託居宅に関しては、毎月1件の利用あり

訪問介護に関しては、新規契約が1件あったが、重度の疾患を抱えていたため、入退院を繰り返し、短期間で支援が終了となった。また、通院支援を利用していた方に重度の疾患が見つかり、家族対応での受診となり現在は休止している。

居宅介護に関しては、家族から新型コロナウイルス感染防止のため入浴支援を中止するケースがあったが、家事支援が再開したケースや通院等介助の利用が増加傾向にあった。

移動支援に関しては、買い物支援、余暇支援とも新型コロナウイルス感染拡大によりキャンセルされるケースが多く見られた